



「未来志向」「ONE TEAM」で、JR産業に「安心」を取り戻そう！

2 0 2 2 年 3 月 2 5 日

日本鉄道労働組合連合会

JR四国労組自動車支部2022春闘交渉妥結

・定期昇給(年齢給・職能給)の完全実施

4月25日以降精算(例年より1ヵ月前倒し)

・新規採用者の初任給引き上げ

・契約社員・定年再雇用契約社員の賃金改善

など

J R 四国労組と自動車支部は3月18日、ジェイアール四国バス(株)と行った団体交渉で会社から、申13号「2022年4月1日以降の賃金引き上げ」、申14号「労働時間の短縮及び制度改善」に対する最終回答が示された。

回答を受けてJ R 四国労組は、「2年ぶりに定期昇給が完全実施となる。この結果は、厳しい経営環境の中、この間の賞与不支給や定期昇給の一部凍結、待命休職などの協力を受け入れ、今なお、現場で安全・安定輸送の堅持にむけて奮闘する組合員の頑張りによるものである。現下の取り巻く経営環境を踏まえれば、会社の重たい判断であったと受け止めているが、昨年の定期昇給が年齢給のみであったことを踏まえ、今後も引き続き賃金の改善を求めていく」と主張。一方、会社は「昨年の定期昇給については、貴側と妥結し実施したものであり、今回は是正する考えはない」としたうえで、「待命休職の期間により不均衡とならないよう取り扱い、2022年4月1日時点で待命休職の者も対象として実施する」と回答した。

その後、J R 四国労組は回答を持ち帰り検討した結果、長期化するコロナ禍により2年連続の大幅赤字を見込むなど、危機的な経営環境の中、2年ぶりの定期昇給完全実施をはじめ、初任給の底上げ、契約社員・定年退職再雇用社員の賃金改善、新型コロナウイルス感染症の感染・濃厚接触者への保存休暇適用拡大、ハラスメント防止関連法・改正育児介護休業法への対応についての回答を得たことから、16時半に妥結した。